



令和7年度

玄海みらい学園経営プラン

学園長 吉村

21世紀の実生活・実社会で生きて働く力の育成

日本国憲法
教育基本法・学校教育法
学習指導要領

県教育基本方針
町教育基本方針

校訓

新・究・律・愛

玄海町の特徴と状況
玄海町民の実態と願い
児童生徒・保護者の実態と願い

新：進取の気性に富む児童生徒と教師

究：本質を究めようとする児童生徒と教師

律：自律的に考え行動する児童生徒と教師

愛：自他と郷土を愛し良き人間関係を築こうとする児童生徒と教師

みらい学園経営ビジョン

みらいにつながる学びをひらく

学園教育目標

みらいをひらく ～「すき」をみつけ 「よさ」をのぼす～

徳【思いやる心・感動する心】

自分のよさや個性に自信を持ち、互いに認め合い伸ばし合う子ども

知【主体的に学ぶ力】

自ら課題を見つけ、考え、学んだことを活用しながら、探究する子ども

体【健康な心身・体力】

自らを律しつつ、健康な心や体づくりに取り組む子ども

生徒指導部・特別活動部

- (1)豊かな心を身に付ける教育活動の充実
○縦割り班活動・各種集会活動
- (2)自ら笑顔で「あいさつ」ができる児童生徒の育成
- (3)受容と共感的理解に基づいた生徒指導の充実
○人権集会・道徳・行事を通じた人権・同和教育
○連絡協議会や教育相談を活かした指導
- (4)いじめの未然防止, 早期発見, 早期対応, 再発防止
○毎月末の生活アンケート
- (5)自主的, 自立的な児童生徒の育成
○児童生徒会活動(地域貢献・ボランティア)
○「出番・役割・承認」による開発的生徒指導

学習部・研究推進委員会

- (1)基礎学力の定着と家庭学習の充実
○「家庭学習のすすめ」の作成と配布
○「おすすめの本」の設定と読書の薦め(前期)
○量と質を考えた授業とつながりのある課題の提示(後期)
- (2)「授業づくりのステップ1・2・3」を踏まえたアウトプット活動の充実
○「めあて・まとめ・振り返り」のある授業実践
○アウトプット活動「話し合い」「書く」の充実
○全学年「みらいっ子トーク」によりコミュニケーションの型を身につける。対話的学習への応用。
- (3)学習評価による指導法改善

保体部

- (1)運動習慣の改善や定着化
○体育館や運動場の昼休み開放
○持久走大会を通じた運動推進(前期)
○ランニングと強化トレーニング(後期)
○運動部活動への参加の推進(後期)
○運動の習慣化と健康のための自己管理能力の育成
- (2)望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成
○朝食摂取、残菜0の呼びかけ
○食育の充実(五大栄養素の大切さ)

地域・家庭との連携

- (1)地域を生かした学び
○ESDの視点による海洋教育
- (2)地域人材の活用
○ゲストティーチャーの活用
○教育委員会との連携
○唐津青翔高校・保育園との連携
- (3)家庭との連携
○学校評価アンケート

個に応じた支援

- (1)全職員による情報共有
○児童生徒指導協議会の開催
- (2)支援体制の充実
○特別支援学級と通級指導教室の設置
○教育相談・就学相談の充実
○OSC,SSWとの連携
- (3)職員研修・ケース会議の充実
○専門的な知識や経験を有する講師
○外部専門機関との連携

9年間を見通した教育活動

- (1)ステージ制の導入
○初等部(1～4年), 中等部(5～6年), 高等部(7～9年)のステージに分けた教育活動
- (2)前期・後期の乗り入れ授業
- (3)児童生徒間の多様な活動スタイル
○初等部と, 中・高等部の2つに分けた活動
- (4)中1ギャップの解消

◆本年度の重点課題◆

- ①主体性の深化と発展を目指した義務教育9年間の学びの充実
- ②特別支援教育の推進と校内支援体制の充実
- ③組織力を生かした業務の改善と時間外勤務時間の縮減